



## 柳川運輸株式会社

（全国に延べ1万坪の倉庫を有し  
物流拠点として産産を裏方で支える）



1



1 昨年、本社敷地内に整備した700坪ある倉庫の内部（右）と外観（左）。日本の家具メーカーがアジアで製造した家具を保管し、注文に応じ全国に運ぶ  
2 同社のイメージキャラクターのミツパチ「ヤナチャン」。トラックに描かれており、全国を走り続けている 3 本社社屋 4 3代目の下川暢洋社長



4



3

今回紹介する企業は、柳川運輸株式会社です。同社は、関東や関西など全国に6つの事業所を展開し、家具や農産物などを、全国に運ぶ運送業務などを行っています。

昭和28年、旧三橋町藤吉で、現社長の下川暢洋さん（56歳）の父がトラック運送会社を創業。当時のトラック運送は、近距離が中心で、遠距離の輸送には鉄道が使われていました。昭和34年の伊勢湾台風で状況が一変します。台

**【企業情報】**

- 所在地＝  
田脇 174-1  
☎ 76・0511
- 資本金  
＝ 2500万円
- 代表取締役社長＝  
下川暢洋
- 従業員＝ 110人

風で中部地方の鉄道網が寸断され、関東方面への輸送に鉄道を使えなくなったため、トラックによる遠距離輸送が増えたのです。特に、同社は大川の家具を多く取り扱っていたことから、関東の家具メーカーからの依頼が多く、結果的に筑後地区では、いち早く関東までの長距離定期便の運送を開始することになります。

やがて、高度経済成長期を迎え、大川の家具産業が発展すると同社の取扱量も増加。敷地が手狭になったことから、昭和56年、現在の田脇に本社を移転します。

平成になり、海外製の家具が増え始めると、大川家具の取扱量は減少しますが、これまで培った家具配送のノウハウを生かして、新たな業務を展開していきます。本社以外にも大川や佐賀、福岡、関東などに延べ1万坪に及ぶ物流倉庫を整備。それらの倉庫を

拠点に、ただ運ぶだけではなく、出入庫から受注・配送までを一貫して管理する物流システムを確立し、顧客のニーズに迅速に対応しています。

同社のトラックに描かれているイメージキャラクターのミツパチ「ヤナチャン」。ミツを運びながら花の受粉を手伝うミツパチのように、荷物を運びながらお客様のお役に立てる存在となるべく、同社のトラックは今日も全国を走っています。

●社長のひとこと  
物流の仕事は空気のようなもの。目立たなくて、あつて当たり前ですが、なくてはならない存在です。物流が滞ると、産業全体が停滞します。自分たちが裏方で産産をしっかりと支えていることに誇りを持って、日々がんばっています。

【問】市商工・ブランド振興課 企業誘致・ベンチャー支援係 (☎77・8762)